

司会のことば

松尾博司*

数年前に、その頃私は川越の総合医療センターにいたのですが、そこでDCMの患者について、心筋生検所見とかミトコンドリアのDNAの塩基配列とかを、小澤先生直接ではないのですが見てもらいまして、大変勉強になりました。以降、私自身は何もできないものですから、ただ興味を持って先生の話聞いてきたわけです。今回、特別講演は外人という話もあったのですが、それよりも先生の話聞きたいということで、無理にお願いして、わがまますまを許してもらいました。今年の日循でも講演をなさっているの、皆様記憶に新しいところだろうと思います。

小澤先生は昭和32年に名古屋大学の医学部を卒

業されまして、37年に大学院を修了され、名大の第1生化学の助手、講師、助教授を経て、51年から第2生化学の教授でいらっしゃいます。日本学術会議の生化研連会員、あるいは日本生化学会、日本ショック学会の理事、日本循環器学会の評議員をなさっております。主な研究テーマは「ミトコンドリアの高エネルギー産生機構」と「生体膜の超微構造と機能」です。本日は「ミトコンドリアの遺伝子変異と平均余命」、確か前に平均寿命は130歳ぐらいだという話をどこかで聞いたような気がするのですが、今日はもっと短いお話です。先生、よろしく願いいたします。

*埼玉医科大学 第2内科